

「日本マクロエンジニアリング学会シンポジウム 2015」が開催されました

文責：茂木 創（日本マクロエンジニアリング学会理事長）

2015年8月22日(土)、(株)青南商事塩竈工場会議室において、シンポジウム2015が盛
会裏に開催されました。また、本学会法人会員である(株)青南商事(代表取締役 安藤元吉)
様のご厚意において産業廃棄物の処理施設の見学を行うことができました。



担当者からの詳しい説明



破砕される前の自動車



丁寧に分別され、輸出される鉄屑

ポスターセッションでは、バートル・エルデネダライ氏による「モンゴル国における輸入
中古車の使用状況とリサイクル実態に関する研究」と、シンジュー・ボロルチメグ氏によ
る「モンゴル国における廃プラスチックの排出特性と処理方法に関する研究」の2つの発
表が行われました。



バートル・エルデネダライ氏
(アジア自動車環境フォーラム日本事務局)



シンジュー・ボロルチメグ氏
(東北大学大学院)

(株)青南商事代表取締役 安藤元吉氏によるご挨拶



講演 1 では、劉 庭秀氏(東北大学大学院国際文化研究科)による「文部科学省の復興教育支援事業の成果と課題-宮城県の事例を中心に」と題した講演において、「環境教育」の系譜についてわかりやすい説明がなされました。また、石巻市、気仙沼市、塩釜市におけるユネスコスクールを拠点とした環境教育の積極的な試み事例についても言及されました。



講演 2 では、齋藤優子氏(日本学術振興会・特別研究員(東北大学))による「韓国の大都市における都市鉱山事業の新しい展開」と題する講演がなされ、日韓の小型家電のリサイクルに関する制度比較やウルサン市における使用済み小型家電の回収状況などについて、調査に基づく成果報告がありました。



講演 3 では、新田義修氏(岩手県立大学 総合政策学部・地域連携本部)が、「東日本大震災津波による復旧・復興に伴う岩手県沿岸地域における「先端技術」の導入・定着条件—食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ)を事例として—」と題し、先端技術の経営経済的評価手法と先端技術導入に対応した営漁計画・経営診断手法を開発するための条件について提言しました。



ポスターセッション、講演、それぞれにおいて活発な質疑応答がなされました。